

目 次

日本画	1
書	5
洋画	11
工芸	17
写真	21
デザイン	28
彫刻	33

審査員一覧

【県外審査員】

工 芸	福富 幸氏（岡山県立美術館 副管理者学芸課長事務取扱）
写 真	松井みさき氏（写真映像作家）
デザイン	星加民雄氏（神戸芸術工科大学非常勤講師（錯視アーティスト））

【県内審査員】

日本画	大森幹夫、小村俊美、中村康二、東野布由美、広田あつ子、福間小夜子、三島京子、村上ななほ、吉岡珠恵、米原ひろこ
書	板倉満幸、伊藤蘭峯、井上洋美、角折和夫、戸津川政世、中尾弘子、野上昭子、秦 鶴芳、三谷眞砂子、室下景雲
洋画	阿式康央、石橋 博、井上春雄、岩崎久美子、岩田明美、岩田賀代子、鹿島昭一、梶谷修弘、春日裕次、勝田敏夫、勝部和子、金築秀俊、川井一玄、川上浩平、神庭 明、北本雅己、杵築 伸、熊谷侑子、藏敷真弓、栗原清司、桑本京子、近藤 隆、佐藤收男、篠田正美、水津保美、杉谷俊一、杉原孝芳、寺井壽一、鳥屋尾敬、花谷久代、樋野 梢、常松淳子、持田隆志、森井久司、森山 恭、山岡晴夫
工 芸	吾郷江美子、石村 稔、犬山卓也、内田和秀、藤間 寛、長岡住右衛門、濱田幸介、福郷 徹、正木 潤、松浦弘美、松本三千子、渡部良和
写 真	井上健治、岡田文夫、川本貢功、小林茂雄、佐々木聡、藤原静雄、吉崎佳慶、三加茂幸子、森脇寿一、酒井重礼、江川安夫、田中利博、山下壮一、岡崎茂喜
デザイン	石野 眞、寺尾 堂、近藤 隆、平江 透、遠藤 毅、小原恭子、秋國紋子、稲田通子、内田京子、奥美奈子、春日謙一、品川良樹、柳楽武臣、錦織秀行、野々内政美、原 真人、山川房子、代高田由梨、玉木喜久代
彫 刻	伊藤眞美、近田裕喜、田中俊晞、中尾芳雄、松本健志、山岡弘勉

日本画

応募点数	38点	招待作品	11点
入賞点数	7点	展示点数	49点
入選点数	31点	◎は移動展出品作品	

(総 評) 今秋の県展は、リニューアルされた美術館での再開となりました。照明が明るく改善されたことで、作品をより効果的に引き立てる一助となり、とても有り難く感じています。

日本画部門においては、出品数は前年度とほぼ同数で、初出品3点を含む、一般27点、会員11点、招待11点と出品いただき、いずれも個性豊かで、心の込もった作品が多数見受けられました。

入賞作品の選考にあたっては、今年も10名の審査員が繰り返し丁寧に公正に行いました。審査する側も日頃から審美眼を磨くことが求められ、厳しく試される本展の審査でもあり、いつもながらの重責を感じました。

今年の印象は、現実を忠実にリアルに描写された作品から、昇華された精神性の高い作品まで…と、表現の多彩さが充実感に繋がっていたように思います。また、さらにそれぞれが形に嵌り過ぎず、自由な発想で感動を表出し、自分らしさを追求する制作姿勢までもがうかがえました。

日本画の制作工程はとても手間暇がかかりますが、岩絵の具の持つ触覚的な質感と言うのはデジタル表現にはなかなかない貴重なものだと思います。制作が容易でないこと故のいつまでも飽きさせない面白さや魅力があります。そして、それを一つ一つの作品が発信しています。

どうぞ、ゆっくりじっくり、それぞれの作品と対峙し、感動を共有して頂ければ幸いです。

(文責 吉岡 珠恵)

知事賞 ◎

つきのあかり

槇野寿衣 (出雲市)

乾いた土地とサボテン。画面からその空気感を強く感じられます。少ない色彩の濃淡で、全体の色のバランスの良さを感じます。中間色を使うと、日本画の絵の具は粒子が細くなり、扱いがむずかしくなりますが、絵の具の特長をうまく使って描かれています。画面に描かれたデコボコのマチエールが乾いた土地とサボテンという植物の存在感とうまくマッチしています。構図は単純でありながら、題名のあかりから「光」を感じられました。

(文責 東野布由美)

金 賞 ④

爆ぜる

吉野瑞生 (出雲市)

夏の夜の風物詩、線香花火が描かれています。大寫しに描いた指先、火花、そしてバックに浮かぶ煙霧ともかんじられる花々で画面を占めた大胆な構図が斬新だと思います。これほど、画面が鮮やかに、華やかに表現されていますので、もうちょっと、暗闇を描かれてもよいかと思いました。

(文責 村上ななほ)

銀 賞 ④

陽春

恩田ゆき子 (奥出雲町)

作者は、毎年庭先の花をやさしい色合いで表現されています。春先の暖かさや陽気を感じさせる花をかたまりとして、丁寧に彩づけられ、柔らかい色調の葉で包み込んで描かれており、植物の生命力をも感じとれます。新しい技法に挑戦された地面のマチエールのおもしろさがいい効果となっています。

(文責 米原ひろこ)

銀 賞 ④

蒼

井上櫻子 (松江市)

強烈な明暗のコントラストの中で、上体をぐっとひねり、こちらを見つめる少女。画面の多くを占める暗い青と、闇を切りさくように沸きあがる幻想的な白い光。

形の細部にこだわらず、色相も最小限におさえたことが、少女の若さと意志の強さをいっそうひきたてています。

椅子に寄り体をひねるポーズを的確に表わすことには、苦心もあったと思います。

繊細で緻密な描写を好む人も多くなかで、枝葉を刈りこむ表現には、勇気がいらります。省略と強調により、イメージをストレートに伝えるという、絵画の本質を掴んだ作品です。

(文責 三島 京子)

銅 賞 ④

風薫る

原真由美 (出雲市)

初夏に咲くケシの花を慈しむように実感のある色彩で瑞々しく描かれています。花の紅辰砂が生命の輝きと香りまでも感じさせています。

花のしなやかな動きや省略して描かれた花と余白の広がりや色彩が画面に動きや風を創っています。

テーマにふさわしく、ケシの花をやさしく包むように5月の爽やかな風を感じる作品になっています。

(文責 福間小夜子)

銅賞 ④

さんか
讃歌

の 野 津 恵 子 (松江市)

大きな花のブーケを胸に抱く女性の華やかさが画面から溢れています。さらに清楚な気品や優しさまでもが感じられます。バックも面白く表現されていて、人物を引き立てています。

近年、作者らしい人物の描き方が定着し、その世界観がどんどん広げられ、次回作にも益々期待が膨らみます。

(文責 吉岡 珠恵)

銅賞 ④

い ぼ し ょ
居場所あ ら かわ
荒 川 ゆかり (安来市)

「居場所」と題して子猫のお気に入りの場所であるクローゼットは、色とりどりの衣類が楽しげに並んでおり、面白い画面構成です。ただ、主役である子猫があまりに小さく、存在感が弱いのと、横にある木箱が目立ち過ぎる事が気になります。

日常の何げない所に目を向けた作者の、今後の活躍を祈ります。

(文責 大森 幹雄)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
	明日を待つ	伊 藤 圭 子 (出雲市)	会員
	杉	清 原 茂 治 (松江市)	会員
④	鼓動	佐々木 勉 (松江市)	会員 日本画協会会員奨励賞
	光の刻	須 谷 幹 子 (出雲市)	会員
	白い根 (さといも)	内 藤 章 江 (松江市)	会員
	秋立つ	原 邦 子 (出雲市)	会員
	蝶のように	福 間 美智子 (出雲市)	会員
	錦鯉	舟 木 美代子 (松江市)	会員
	風蘭	松 下 純 子 (出雲市)	会員
	鶏頭	松 原 安 杏 (松江市)	会員
④	双	森 脇 純 子 (出雲市)	会員 日本画協会会員賞
④	旅伏山ハイキング (都武自神社)	飯 塚 眞 治 (出雲市)	日本画協会賞
	ジュラント	稲 村 正 志 (出雲市)	
	初夏	黒 田 育 子 (出雲市)	
	華やぐ	鹿 田 純 子 (松江市)	日本画協会奨励賞
	許曾志の里	菅 野 あい子 (松江市)	日本画協会奨励賞
	状 (かたち) をおとす	千 原 優 子 (奥出雲町)	日本画協会奨励賞
④	牡丹	大 石 照 子 (益田市)	
	表演の宙	岡 本 幸 子 (安来市)	
	十輪十色	勝 部 珠 實 (出雲市)	

題名	氏名	備考
刻	岸 静 子 (出雲市)	
海峡	岸 井 二 美 (松江市)	
曼珠沙華	経 種 一 生 (雲南市)	
早春の大山と空	小 谷 紘 子 (安来市)	
⑩ 巨岩崇拜	村 岡 万 子 (山口県)	
小春日和	目 黒 誠 津 子 (奥出雲町)	
満開	渡 部 スミ子 (安来市)	
⑩ ヤブツバキの竹垣	井 上 智 子 (松江市)	日本画協会新人賞
一隅	阿 部 明 美 (松江市)	
舞う春	宇田川 京 子 (奥出雲町)	
猛暑の花	石 橋 陽 子 (松江市)	

招 待

題名	氏名	備考
秋霖	吉 岡 珠 恵 (松江市)	
斐伊川 (秋)	小 村 俊 美 (出雲市)	
粧	大 森 幹 雄 (出雲市)	
⑩ スカイバルン	中 村 康 二 (奥出雲町)	
地に花	東 野 布由美 (出雲市)	
縁日の華	福 間 小夜子 (出雲市)	
女	三 島 京 子 (松江市)	
森の奥に	村 上 ななほ (松江市)	
天空のまち	米 原 ひろこ (出雲市)	
⑩ 爽涼	広 田 あつ子 (安来市)	
白耀	安 部 富 男 (松江市)	

書

応募点数	117点	招待作品	19点
入賞点数	7点	展示点数	136点
入選点数	110点	◎は移動展出品作品	

(総評) 漢字は、古代中国において3500年前に作られ時代とともに人々に愛され、日本に渡来してからは、文化の進展に大きく貢献した。書作は、コロナ禍において心の健康のために最も重用な文化と言えるが、感染状況によって出品の増減は致し方なく運営の難しさである。

島根書道会は、戦後早くからこの展覧会に関与して書道の発展に寄与してきた。最近の書道の流れに沿い、漢字・かな・篆刻など古典分野と、近代詩文書・大字・前衛などの現代的表現に合わせて、47回展からヤング部門から始まったニューホープ部と幅広い展覧会となっている。

今回展は、日本特有の感情や感覚を表わす「かな」によく修練された作が多く、また現代分野も発想豊かで、響きのある作風が見聞され楽しめる展覧会となった。

(文責 山崎 銀川)

知事賞 ◎

しらつゆ
白露に

かきの き ち か
柿 木 智 香 (出雲市)

余白のとり方が絶妙である。良寛の歌が流暢に力強く書かれている。特に三行目の流れが目を引く。

(文責 野上 昭子)

金賞 ◎

もり

さい とう
齋 藤 まさみ (吉賀町)

L字の堂々とした太線構成と上部の白い余白が生き生きと冴えた作、幾つもの細い線と飛沫が神秘的な「もり」を想像させる。

(文責 中尾 弘子)

銀賞 ◎

ろりんし
盧綸詩

かじ たに ま ゆ
梶 谷 真 由 (出雲市)

冴えた線質で字形を巧みに変化させ、白黒のバランスも絶妙で清々しい快作である。

(文責 室下 景雲)

銀賞 ④

^{みず}
水

^{つち} ^え ^{ひろし}
土江博 (大田市)

一画目重厚かつ、しっとりとした線で大河を通し、徐々に気を高め渴筆で豪快に支流を描いた。水を沢山含んだ、まさに広大な扇状地を思い浮かべる。賞に相応しい快作である。

(文責 井上 洋美)

銅賞 ④

^{しゅうおうし}
秋櫻子の句

^{ふじ} ^い ^か ^え
藤井佳恵 (出雲市)

濃い墨を紙面に食い込ませ、力強く表現している。

字の大小の適所配置や墨の潤渴、特に中央行の渴筆線を前後の潤墨行で補うことで紙面の白と黒が調和し、躍動感のある作品となった。

(文責 角折 和夫)

銅賞 ④

^{そうらんじょう}
喪乱帖

^{もり} ^{した} ^さ ^わ
森下沙和 (浜田市)

王羲之晩年の書風の特徴をよく捉え、運筆が自然に動き、雄々しくて勢いがあり堂々としている。書線の太細、強弱が紙面に巧みに表現され、余白も美しく深い趣が感じられる作。

(文責 戸津川政世)

銅賞 ④

^{じゃくじょう}
寂静

^さ ^だ ^の ^{りん}
左田野倫 (浜田市)

堂々と中央に鎮座した黒いかたまり。よく見ると白と黒が複雑に絡み合いながらごめいている。若々しさを感じる斬新な作。

(文責 板倉 満幸)

入 選

「第1部 漢字」

	題 名	氏 名	備 考
⑨	灌頂記	岡 田 恵 子 (浜田市)	島根書道会特選
	鹿柴	浜 村 藍 香 (雲南市)	島根書道会特選
	伊都内親王願文	藤 原 明 美 (大田市)	島根書道会特選
⑨	鄭義下碑	原 田 千 里 (浜田市)	島根書道会特選
	木簡	若 槻 栄 子 (雲南市)	島根書道会特選
⑨	争坐位文稿	工 藤 利 恵 (浜田市)	島根書道会特選
	薛瑩の詩	今 井 真 由 (出雲市)	島根書道会特選
	伊都内親王願文	伊 藤 汀 女 (大田市)	島根書道会特選
	黄花	錦 織 美 貴 (雲南市)	島根書道会秀作
	李嶠詩	木 村 優 子 (浜田市)	島根書道会秀作
	吾友帖	柿 木 和 子 (雲南市)	島根書道会秀作
	敬祖帖	山 本 波 留 (大田市)	島根書道会秀作
	秋日湖上	藤 原 八代美 (雲南市)	島根書道会秀作
	牛欄造像記	山 平 孤 舟 (浜田市)	島根書道会秀作
	温泉銘	吉 田 みのり (松江市)	島根書道会秀作
	晋祠銘	高 橋 真知子 (江津市)	島根書道会秀作
	祭姪文稿	小 出 登志子 (浜田市)	島根書道会秀作
	書譜	土 江 清 夫 (雲南市)	島根書道会秀作
	遊日帖	錦 織 清 峰 (雲南市)	島根書道会秀作
	袁士元詩	永 見 麗 月 (雲南市)	島根書道会秀作
	楽毅論	三 谷 和 子 (大田市)	島根書道会秀作
	祭姪文稿	田 中 百合子 (大田市)	島根書道会秀作
	高貞碑	樋 野 不二子 (浜田市)	島根書道会入選
	忽披帖	西 川 溪 石 (雲南市)	島根書道会入選
	集字聖教序	和 田 由実子 (大田市)	島根書道会入選
	雁塔聖教序	松 本 颯 生 (大田市)	島根書道会入選
	李嶠詩	道 下 佐和子 (浜田市)	島根書道会入選
	蘭亭叙	別 所 俊 香 (雲南市)	島根書道会入選
	喪乱帖	野 津 円 (隠岐の島町)	島根書道会入選
	積時帖	山 藤 治 枝 (浜田市)	島根書道会入選
	防秋疏	藤 田 香 苑 (松江市)	島根書道会入選
	九成宮醴泉銘	三 澤 智 子 (浜田市)	島根書道会入選
	風信帖	山 内 富紀子 (大田市)	島根書道会入選
	十七帖	品 川 未 侑 (浜田市)	島根書道会入選
	温泉銘	遠 藤 美佐子 (大田市)	島根書道会入選
	鄭義下碑	原 佳奈子 (益田市)	島根書道会入選

「第2部 かな」

	はるがすみ	角 裕 舜 (松江市)	島根書道会特選
	天の海に	錦 織 君 子 (雲南市)	島根書道会特選

題名	氏名	備考
浅緑	森山明美(出雲市)	島根書道会特選
かきくもる	郷原華江(出雲市)	島根書道会秀作
天のはら	畠山千鶴(松江市)	島根書道会秀作
秋風の	米田照蘭(奥出雲町)	島根書道会秀作
あきばれや	宗近惺月(江津市)	島根書道会秀作
古の	石田遥華(出雲市)	島根書道会秀作
世の中に	佐藤晴空(松江市)	島根書道会秀作
雲まより	庄司里美(松江市)	島根書道会入選
おもはぬに	松本喜久恵(浜田市)	島根書道会入選
ふくからに	池尾武(松江市)	島根書道会入選
天地に	野村八重野(浜田市)	島根書道会入選
寒椿	景山雅仙(雲南市)	島根書道会入選
わが触れて	山本照江(松江市)	島根書道会入選
ゆく秋の	大島由紀(大田市)	島根書道会入選

「第3部 近代詩文」

⑩ 秋櫻子の句	福田茜丹(松江市)	島根書道会特選
⑩ 若山牧水のうた	石倉光旭(松江市)	島根書道会特選
飯田蛇笏の句	大井智子(雲南市)	島根書道会秀作
長塚節のうた	三島文江(出雲市)	島根書道会秀作
涙そうそう	持田花舟(松江市)	島根書道会秀作
矢後銀席の句	石原美風(雲南市)	島根書道会秀作
篠原梵の句	渡部如英(奥出雲町)	島根書道会入選
雪の華	谷戸伶舟(松江市)	島根書道会入選
遠野萌の句	瀬尾美代子(安来市)	島根書道会入選
輝く星 山内寿子の詩	山根蒼雲(松江市)	島根書道会入選
山下美典の句	杉原美智(出雲市)	島根書道会入選

「第4部 大字書」

⑩ 碧	松浦順子(大田市)	島根書道会特選
慈	谷口陽子(大田市)	島根書道会特選
越	田儀節子(大田市)	島根書道会特選
花	木村貴子(大田市)	島根書道会秀作
意	田中美紀(大田市)	島根書道会秀作
断	松本颯生(大田市)	島根書道会秀作
露	森脇寿子(大田市)	島根書道会秀作
尊	松浦桂子(大田市)	島根書道会秀作
結	郷原舞衣子(大田市)	島根書道会秀作
斌	長谷川千鶴(美郷町)	島根書道会秀作
旅	飯田啓介(大田市)	島根書道会入選
想	平田美保子(大田市)	島根書道会入選
虎	山根京子(大田市)	島根書道会入選
道	黒瀬香緒利(大田市)	島根書道会入選

題名	氏名	備考
我	福田知子(大田市)	島根書道会入選
感	畠山千鶴(松江市)	島根書道会入選
興	松浦益子(大田市)	島根書道会入選

「第5部 前衛」

	こう	大草明美(浜田市)	島根書道会特選
⑩	唯	江川由美子(益田市)	島根書道会特選
	ほう	笠田邦園(浜田市)	島根書道会特選
⑩	羽	道下佐和子(浜田市)	島根書道会特選
	翔	三澤智子(浜田市)	島根書道会秀作
⑩	無	原納芳道(益田市)	島根書道会秀作
	そう	宮本綾子(浜田市)	島根書道会秀作
	里	岩本里奈(浜田市)	島根書道会秀作
	翔	樋野不二子(浜田市)	島根書道会秀作
	ZIN	塩月智香子(浜田市)	島根書道会秀作
	蒼	佐野博子(大田市)	島根書道会秀作
	明	石原真紀子(出雲市)	島根書道会秀作
	えん	岡田恵子(浜田市)	島根書道会入選
	RYU	當木恵美(浜田市)	島根書道会入選
	波	中谷聡恵(浜田市)	島根書道会入選
	カイ	井上範子(浜田市)	島根書道会入選
	念	佐々木弘子(浜田市)	島根書道会入選
	想	山崎重子(浜田市)	島根書道会入選
	流	西田洋子(浜田市)	島根書道会入選
	鳴	梅田賀千(江津市)	島根書道会入選
	しゅう	山根里美(浜田市)	島根書道会入選

「第6部 篆刻」

愛以身為	山中徹人(松江市)	島根書道会秀作
------	-----------	---------

「ニューホープ部」

⑩	楽毅論	山平悠斗(浜田市)	島根書道会ニューホープ賞
	おらがよや	須古星優馬(浜田市)	島根書道会ニューホープ賞
	風信帖	坂井虹乃(浜田市)	島根書道会ニューホープ賞
	うぐひすの	山崎沙緒(江津市)	島根書道会ニューホープ部特選
	集字聖教序	郷原佳奈(雲南市)	島根書道会ニューホープ部特選
	乙瑛碑	松林花恋(雲南市)	島根書道会ニューホープ部秀作
	かげろうや	志窪萌(江津市)	島根書道会ニューホープ部奨励賞
	秋眺望	船木咲和(雲南市)	島根書道会ニューホープ部奨励賞

招待

	題名	氏名	備考
	暁のひやや	秋 國 錦 雲 (松江市)	
⑩	山頭火の句	吾 郷 純 子 (出雲市)	
⑩	移風易俗	浅 野 江 涯 (江津市)	
⑩	海	飯 田 徹 (大田市)	
⑩	断	板 倉 満 幸 (大田市)	
	秋の夜は	伊 藤 蘭 峯 (松江市)	
	逢	井 上 洋 美 (大田市)	
⑩	郷	佐々木 龍 雲 (益田市)	
⑩	一日一生	山 藤 耕 子 (江津市)	
	秋櫻子の句	角 折 和 夫 (雲南市)	
⑩	池窓	戸津川 政 世 (浜田市)	
⑩	けい	中 尾 弘 子 (浜田市)	
⑩	小鳥らが	野 上 昭 子 (浜田市)	
	明日へのマーチ	秦 鶴 芳 (松江市)	
	魄	三 谷 眞砂子 (大田市)	
⑩	禅語	室 下 景 雲 (雲南市)	
⑩	天地草木	森 須 園 (浜田市)	
⑩	最	山 崎 銀 川 (大田市)	
⑩	建	渡 辺 玄 海 (松江市)	

洋画

応募点数	94点	招待作品	44点
入賞点数	7点	展示点数	123点
入選点数	72点	◎は移動展出品作品	

(総 評) 新型コロナウイルス感染症の第8波が危惧される状況となり、引き続き検温、マスク、アルコール消毒等の予防措置を経ての開催となりました。

応募点数はここ数年100点前後で推移しており、今回もほぼ同数の応募があり、長引くコロナ禍でも多くの出品者の方々が、県展を目指して時間をかけ意欲的に制作に取り組まれたと心強く感じました。

ただ、2点・3点の複数出品の方が以前より少なくなっているのが若干気がかりではありますが、逆に初出品の方が増加していることは底辺の広がりを感じさせてとても頼もしく感じました。

さて、知事賞以下この度受賞された7名の作品は、テーマ、構成、配色など自己表現のための懸命な努力が窺える質の高いものとなっており、これからの制作に大いに期待されるものでした。

また、7つという限られた賞の数のため、惜しくも受賞を逃された作品の中にも魅力的な多くの力作・秀作があったことを付記し、来年の出品を審査員一同楽しみにしているところです。

それでは、厳正な審査の結果入選された作品79点に加えて招待作品44点の総数123点をリニューアルされた明るい展示会場でゆっくりとご鑑賞ください。

(文責 杉谷 俊一)

知事賞 ◎

ドリーム

おがさわら
小笠原

みのる
稔 (松江市)

現代の混沌とした世界の象徴であろうか。地図のような、俯瞰した街のような背景の中に、大人も子どもも動物、鳥、魚など様々な登場者が楽しそうに溢れている。ポップアートの手法と解釈で満たされた自由な作画は、この極めて保守的と思われがちな地域での審査において最高票を獲得した。作画のルール(色面の強弱、デッサン…)などを笑い飛ばされたような思いを抱きながら、作者の今後の進展を期待するものである。

(文責 北本 雅己)

金 賞 ④

Remake

しま だ ぶみ (松江市)
島 田 史

すばらしい描写力を利用して現代的画面構成に再構築した秀作です。一点透視図法を用いながら遠近感を出しつつも平面的に仕上げている力作。中央部分の青、黒の使い方に工夫があればもっと素晴らしいのでは？

(文責 梶谷 修弘)

銀 賞 ④

ピアノとチェロのためのソナタ

なか さ かず こ (松江市)
仲 佐 和 子

F50号を2枚連ねた大作である。表現方法が非常に直線的で明快なキュビズムの手法ですっきりした作品となっており、写実やフォーブ、抽象的な作品群の中にあってもひととき目立っている。顔の表情が少しあいまいな点が惜しく感じられるが、全体的に簡素化された色彩が美しい。

(文責 鹿島 昭一)

銀 賞 ④

闘牛

とうぎゅう

ひら き ち あき (海士町)
平 木 千 秋

この数年、作者は「テトラポット」を題材にして力作を発表してこられました。その受賞作品もありましたが、今年はその題材も表現も大きく変えられました。今作は、テトラポットと同じ隠岐の題材である「闘牛（牛突き）」です。色彩も赤と黒、牛の動きを大胆に表現され、迫力のある作品となりました。今後も新しいテーマや表現方法を追求されることを楽しみにしています。

(文責 鳥屋尾 敬)

銅 賞 ④

水面の秋

みな も あき

たか はし はる え (松江市)
高 橋 春 江

様々な色や形の落ち葉が水面に浮かぶ様子を的確な描写でリズムカルに描き、幹の映り込み、木の枝も含めて実像と虚像をうまく配置して構成し、独自の世界を創り上げている。その合間に映る青の色が非常に効果的で画面を締め、秋の爽やかな空気を感じる秀作となっている。

(文責 春日 裕次)

銅賞 ④

ないとおる

江角奈美 (出雲市)

果実のような形が向きを変えて大きく配され、その周りに、弾けるような色がダイナミックに踊っています。中央で白い種のような生命体が、息を潜めながら触手を伸ばすように動き始めています。大胆さと繊細さ、激しさと静けさ、燃烧と凍結、その対称的なイメージを行き来し、作者は「ない」と思えるもののなかに「ある」見えにくい形と色を紡ぎ出そうとしているように見えます。今後を期待させるエネルギーあふれる秀作です。

(文責 山岡 晴夫)

銅賞 ④

逡巡する

佐々木千里 (岡山県)

受賞おめでとうございます。作者は若い人なのでしょうか、日々、心の動揺を同系色でまとめて克明に描いておられる姿が感じられて、心に残る秀作です。

(文責 寺井 壽一)

入選

題名	氏名	備考
街	山本百合子 (松江市)	
Fun City	藤井早苗 (松江市)	
三瓶山	陶山本子 (雲南市)	
日向へ	小池佑奈 (雲南市)	
秋光	小村勝 (松江市)	
From 1875 to 2022	渡部陸浩 (松江市)	
八岐大蛇伝説	石川修夫 (出雲市)	
地には平和を	津森敏 (松江市)	
紅葉狩り「道」	周藤春樹 (出雲市)	
眠るものたち	柏原佑佳 (松江市)	
秋の空	田邊哲子 (松江市)	
玉湯川老桜図	錦織透 (松江市)	
大山と紅葉のコンポジション	柳原敬三 (出雲市)	
ダムに映る木	高野寛子 (雲南市)	
④ メタセコイア	野田愛 (益田市)	
④ 栄枯	河上晴夫 (浜田市)	
④ ガラスの皿とリング	横田志保 (津和野町)	
楽土に輝く灯明	天野勝則 (江津市)	
④ ASCENSION 昇天	金谷実 (益田市)	
④ 昼さがり	安田千津子 (益田市)	
④ 遠い日	光富達 (益田市)	

題名	氏名	備考
山	熊谷 健 (松江市)	
わたしより	持田 菜々香 (雲南市)	
遠い日の情景	落合 正和 (松江市)	
自我像	高橋 泰希 (松江市)	
漁火 (掛戸松島沖)	古谷 幸憲 (大田市)	
ピアニスト	石倉 小百合 (松江市)	
アダムとイブ	遠藤 修一 (松江市)	
アユタヤ王宮跡	仲田 嘉文 (安来市)	
K氏	原田 清栄 (江津市)	
⑩ 防波堤の側	仲田 一枝 (浜田市)	
農家の冬仕度	柿田 周直 (大田市)	
⑩ 山門	非々 玲子 (川本町)	
球場を見守る公園の樹木	窪田 加津子 (江津市)	
⑩ 八幡の秋	萬田 みち子 (浜田市)	
⑩ 夏	大道 愛由美 (浜田市)	
小伊津	森脇 圭子 (松江市)	
斐伊川	金築 克郎 (出雲市)	
輝	日野 睦 (出雲市)	
夏休み・帰省	講武 比富美 (松江市)	
稲佐の浜	梅木 美鈴 (奥出雲町)	
二人のふるさと	間庭 喜美江 (松江市)	
紅葉舞う	多納 千恵美 (出雲市)	
夏に向かう	池尻 都 (松江市)	
去り幾大川桜	高見 秋彦 (松江市)	
悲壮	亀山 奈菜実 (出雲市)	
山里のくらし	門脇 豊 (松江市)	
追憶・湖都の娘	舟木 孝義 (松江市)	
水面も秋色	小畑 敬子 (雲南市)	
棚田	田辺 明光 (松江市)	
嘆きの人々	杉本 啓子 (出雲市)	
すつる	太田 雅 (松江市)	
「すべての道はローマに通ず」	塩川 はるみ (松江市)	
たそがれ	赤木 和子 (安来市)	
縄文の世界	宅和 令子 (松江市)	
追憶のヴェネツィア	正国 享子 (松江市)	
FESTIVAL	佐藤 茂雄 (松江市)	
路地2	藤川 裕司 (出雲市)	
花笑み	横山 恵子 (松江市)	
Bikeの女神	三原 俊弘 (出雲市)	
轟き	安達 巖 (松江市)	
屋久島 秋を行く	浜田 健二 (松江市)	
古代のロマン	高橋 恵美子 (松江市)	
無限の華	伊藤 遥 (松江市)	

題名	氏名	備考
空き家	古 曳 小夜子 (安来市)	
茶刈り	荒 木 志 穂 (松江市)	
Rose	小 海 志津子 (松江市)	
「Death≒Salvation=Nirvana」?	中 井 虎之介 (松江市)	
大野の浦	曾 田 稔 (松江市)	
⑩ うまい! 出雲そば処	三 田 康 晶 (邑南町)	
山里の初冬	平 井 伸 一 (松江市)	
巴翠	松 井 美 柑 (出雲市)	

招 待

題名	氏名	備考
人形の室	阿 式 康 央 (松江市)	
町工場	井 上 春 雄 (松江市)	
はるの庭	岩 崎 久美子 (安来市)	
ある日の対話	岩 田 賀代子 (安来市)	
象と飼育員	岩 田 悟 (出雲市)	
⑩ 春の頃	宇津巻 由美子 (浜田市)	
ピアノのある一隅	大 国 豊 子 (出雲市)	
ベニスの英雄追憶	大 塚 昌 雄 (出雲市)	
公園デビュー	鹿 島 昭 一 (松江市)	
塩津	梶 谷 修 弘 (出雲市)	
⑩ 向方	春 日 裕 次 (出雲市)	
何処へ	勝 田 敏 夫 (松江市)	
景	勝 部 和 子 (大田市)	
⑩ ボクサー	金 築 秀 俊 (出雲市)	
大山の麓5	川 井 一 玄 (安来市)	
⑩ 小憩	川 上 浩 平 (出雲市)	
平和への祈り	神 門 芳 子 (松江市)	
二人	神 庭 明 (安来市)	
港	杵 築 伸 (出雲市)	
DANCING	北 本 雅 己 (出雲市)	
巡る刻	木 下 幸 子 (松江市)	
ピエロ幻想	熊 谷 侑 子 (松江市)	
陽	藏 敷 真 弓 (出雲市)	
光を求める	栗 原 清 司 (松江市)	
窓を開けると	桑 本 京 子 (出雲市)	
⑩ 冬の始まり	近 藤 隆 (安来市)	
大元神楽「塵輪」	佐 藤 收 男 (出雲市)	
人々の風景	篠 田 正 美 (益田市)	
⑩ マルト	渋 谷 慎 治 (益田市)	
⑩ 雲と富士	水 津 保 美 (津和野町)	
⑩ 記憶の連鎖	杉 谷 俊 一 (松江市)	

	題名	氏名	備考
	暮れゆく	杉原孝芳 (出雲市)	
	シャボン玉	高橋健一 (松江市)	
	冬の収穫	高橋保 (出雲市)	
	どこかで	常松淳子 (出雲市)	
⑩	秋の訪れ	寺井壽一 (益田市)	
	砂塵の中に (ウズベキスタンにて)	鳥屋尾敬 (出雲市)	
	紫世音	名原世津子 (出雲市)	
⑩	しだれ桜	能美睦 (江津市)	
	森の詩	樋野梢 (松江市)	
	Object	持田隆志 (出雲市)	
	転生の刻	森井久司 (出雲市)	
⑩	カミアリツキノヨル	森山恭 (出雲市)	
⑩	風のかたち22-2	山岡晴夫 (出雲市)	

工芸

応募点数	48点	招待作品	18点
入賞点数	7点	展示点数	59点
入選点数	34点	◎は移動展出品作品	

(総評) 令和4年度、55回目を迎えた鳥根県展、工芸部門には陶芸、染織、木竹工、金工、人形、ガラスなどバリエーションに富んだ多彩な作品が集まりました。一般応募48点から審査員の厳正な投票と協議により優秀作品7点、入選34点が選ばれました。お一人で2点出品される方が複数名おられ、意欲的に制作に取り組む様子が窺われるものでした。また紙彫やワイヤーワーク、フュージングガラスなど、これまであまり例のない技法で制作された作品の応募があり、創作工芸の広がり到我々審査員も視野を広げ、勉強せねばと襟を正されるものでした。

工芸かデザインか、はたまた彫刻か、どの分野で審査するのが適当だろう、と判断に迷うものもありましたが、素材の扱い方や見せ方に工芸らしさがあるかどうか、表現に作者の創意工夫が見られるかどうか、で当落が決まりました。

今年、特筆すべきは知事賞と新人賞に高校生の作品が選ばれたことです。人形の野崎さんの作品には、審査員皆が圧倒されました。真に迫る人物表現、短期間に複数体の人形を制作したという勢い、集中力に感服です。将来が楽しみな逸材です。陶芸の高木さんの作品はシンプルで使い勝手がよさそうな組鉢で、好感の持てるものでした。彼らの活躍を一例として、若い世代が県展に出品するようになれば、新しい風が吹き込みそうです。

各部門で指導者として参画されている審査員諸氏が松江市民美術展、出雲市美術展などで声をかけ、県展への出品を促すなど、才能の発掘に目を配っておられるとのこと。ジャンルを超え、作り手の思いを酌み取り、さらなるレベルアップのために助言指導を惜しまない方々がお世話役におられることが心強いことと思います。独りよがりには陥らないためにも、大いに助言を仰ぎ、精進を重ねていただきたいと思います。

(文責 福富 幸/岡山県立美術館 副管理者学芸課長事務取扱)

知事賞 ◎

しあわ
の
幸せ

の
ぎき
ちあき
野崎千愛季 (松江市)

衣や荷に花びらが舞い散る中、酒を飲み、幸せをかみしめる人物、その装束から戦国時代のしがたい下人の刹那といったところでしょうか。少し疲れたようなリアルな顔貌、生々しい姿態の表現に目を奪われます。作者は17歳の現役高校生。大河ドラマなどを参考に、このたび2体の人形を出品し、知事賞と新人賞の二賞を獲得。彗星のごとく現れたスーパー高校生です。インターネットの情報を頼りに、独学で人形制作に取り組んだそうです。細部にはまだまだ仕上げの粗さも見られますが、時代風俗を再現すべく材料を工夫し、作り上げる集中力や勢い、楽しく制作に取り組んでいる様子が窺えます。デッサンや塑像など人体表現の基礎を学ぶと、よりリアリティのあるモノづくりができると思います。

(文責 福富 幸/岡山県立美術館 副管理者学芸課長事務取扱)

金 賞 ③

もろし ふ つづれおりおびじ ひとなげ やま うち ゆ う (川本町)
諸紙布綴織帯地「一投」 山内ゆう

3年連続での優秀賞受賞となった山内さん、地元の伝統的工芸品である石州和紙を幅2.5mmのテープ状にしたものに縶りをかけ、経糸、緯糸として織り上げています。制作を重ねるごとに織りが安定し、紙布としての完成度が上がっています。波とともに小石が水底で揺れる渚をイメージし、太めのこよりを綴れに織り入れて、生成り一色の地に陰影をもった文様を表現しています。紙糸の太さを変えたり、色をどう取り入れるか、これからどのような作品世界を織り出していけるのか、展開が楽しみです。

(文責 福富 幸/岡山県立美術館 副管理者学芸課長事務取扱)

銀 賞 ③

そめつけきんさいはち つばき あら お 久 美 (大田市)
染付金彩鉢「椿」 荒尾久美

作者はこれまでも繊細な絵付けと確かな造形性により注目され、今回は三回目銀賞の受賞である。

本作は、丸い鉢の四方を削り角鉢に造り、器面に小鳥と椿の図柄を配し、ブルーの染付けの小鳥をひときわ引き立てている。一方、椿の花弁には青海波文や七宝つなぎ文、たこ唐草文など古くから親しまれてきた古典的文様を取り入れ見所としている。周囲の黒釉は艶消しのマット釉がむらむらと掛かり平面的で単調となるのを押えている。

また、裏面は表面からの連続性を意識しつつ、一転して几帳面なスジ目削りに黒釉を画してスッキリとした表現を見せる。

なお、椿の図は椿窯（大田市温泉津町）にちなむもの。

(文責 藤間 寛)

銀 賞 ③

いぬわしぎょうぼう き ふく ま たつ や (出雲市)
狗鷺仰望器 福間達也

アンティーク調のガラスに岩壁に鷺の彫刻文、明治期の工芸を彷彿とされる作品です。サンドブラストで制作されたということです。文様をマスキングして細かい研磨砂を噴射して削っていくもので、削りの深浅で立体感が生まれます。デザインを工夫すれば、もっと表現の可能性が広がるでしょう。

(文責 福富 幸/岡山県立美術館 副管理者学芸課長事務取扱)

銅 賞 ③

し そ わ し ぼり ふく うち うえ の ゆき み (出雲市)
紙塑和紙貼「福は内」 上野幸美

まず見た時に「幼い日の記憶」を思い起こされました。子供の視線の先に温かく見守る両親の姿が見えるようです。

技術的にも「体つきや顔と足の肌色の違い」といった「子供らしさ」や「セーターの質感」の表現も見事です。小道具になりますが「鬼のお面」の作りも手を抜いていませんが、若干人形との違和感がありました。ただ大きなマイナスにはなっていません。

あえての苦言になりますが、人形のフォルムが「こじんまり」としている印象で、「節分」のイメージから「豆を持たせる」とか「広がりのある感じ」があれば…と思われれます。

(文責 石村 稔)

銅 賞 ④ **紙塑和紙貼「さえずり」** 小 村 眞知子 (出雲市)

只今、紅葉の秋 まっただ中！ この作品を見ていると、自分も山登りがしたくなってきました。小鳥のさえずりを聞きながら、のんびりとしたお顔は、幸せそのものです。服の色の組み合わせも、おちついた感じで、見ている人も安らぎをもらいます。目に見えないところの、いろいろな仕上げの心づかいが伝わってくる作品です。

(文責 吾郷江美子)

銅 賞 ④ **経緋縮緬緯帯「彩道」** 川 谷 眞由美 (出雲市)

緋に染めた絹のたて糸1600本に、強撚糸の浜ちりめんの横糸を織り込んだ帯地です。織り上げた後に、布を湯に通すと強撚糸のよこ糸が縮み、さらりとした布の質感を生みます。作者は神戸川の川辺の風景を、ぬいとり織りの技法と藍の生葉染めの淡いブルーの糸を使って表現しています。日々の暮らしの思いを穏やかに表現した作品です。

(文責 松浦 弘美)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
	雅	ChikuChiku (松江市)	
	鉄釉窯変茶碗	郡 司 位 秀 (松江市)	
④	白釉鉢揃	高 木 有 茄 (松江市)	新人賞
	茶碗	内 部 隆 (松江市)	
	茶碗	内 部 隆 (松江市)	
	炭化焼孟宗竹根付花器	岡 義 雄 (松江市)	
	緑硝子釉大鉢	板 倉 清 之 (出雲市)	
	藍碧釉流彩組鉢	嘉 本 慎 吾 (松江市)	
	紙塑和紙貼「恋心」	松 本 輪加子 (松江市)	
④	紀貫之作 土佐日記 松原	高 橋 成 和 (松江市)	島根工芸連盟賞
	花入	森 山 晴 夫 (出雲市)	
	三嵌雫黒釉	古 川 幸 希 (出雲市)	
	耳付松灰釉壺	長 岡 修 (出雲市)	
④	来待石粉ヤマタノオロチ花台	松 下 純 子 (出雲市)	島根工芸連盟賞

題名	氏名	備考
六角皿	越野良一(松江市)	
彩泥墨流し組皿	越野良一(松江市)	
面取炎色壺	山田正彦(松江市)	
釉彩掛分彫文壺	小糠弘昭(松江市)	
月光と牡丹	石川久美(出雲市)	
糠白釉片口	尾野友彦(松江市)	
ヴェストヨータ刺繍皿	足立峻輔(松江市)	
花器	藤井淑美(松江市)	
茶盃	藤井弘一(松江市)	
雲珠	川西規雄(松江市)	
夢みる青き実	鳥谷幸代(松江市)	
◎ 若者の定め	野崎千愛季(松江市)	新人賞
◎ 染付金彩壺「椿」	荒尾久美(大田市)	
◎ 片男波打掛茶盃	嘉戸秀樹(江津市)	
黄瀬戸鉢	江戸端実(大田市)	
◎ 備前ヒダスキ花入	江戸端実(大田市)	
◎ 「ちょっと待ってあなたたちはどこ！」	三宅和美(広島県)	
◎ 桑製七角茶道具	廣兼勇治(益田市)	島根工芸連盟賞
茶器	山崎三仁(大田市)	
◎ 茶碗	山崎三仁(大田市)	

招待

題名	氏名	備考
◎ 炎彩壺	柳楽勝重(出雲市)	
広瀬緋着物「螢の里」	永田佳子(安来市)	
◎ 沈泥彩角皿	犬山卓也(出雲市)	
桑縁神代杉桐結界「山並」	正木潤(出雲市)	
◎ 型絵染麻地帯	黒川裕子(江津市)	
◎ 銅釉茶盃「亀高台」	福郷徹(益田市)	
溜塗銀蒔絵盆「宍道湖マジックアワー」	石村稔(松江市)	
紙塑和紙貼「翠」	吾郷江美子(出雲市)	
縹縹幾何文鉢	内田和秀(松江市)	
◎ 櫛造拭漆盛器	濱田幸介(松江市)	
◎ 鈞窯楕円鉢	荒尾浩之(大田市)	
◎ 鉄文様灰釉角皿	螺山勝實(浜田市)	
◎ 松造拭漆盛器	村山創達(松江市)	
木綿手紡絵緋「クルリクルリと」	木下恵理香(出雲市)	
◎ 神代杉象嵌箱	深田学(雲南市)	
桑曲手付船底蓑盆	渡部良和(雲南市)	
省胎七宝bowl「宙」	松本三千子(松江市)	
◎ 藍染木綿緋	【遺作】青戸秀則(安来市)	

写真

応募点数	138点	招待作品	39点
入賞点数	7点	展示点数	172点
入選点数	126点	◎は移動展出品作品	

(総評) 島根に到着してまず、目立ちすぎる看板などがなく、無意識のうちにとっても美しく整備された景色に驚きました。「神在月に来られてよかったですね」。皆様が日頃から生活の中で神様の存在を感じておられるからだろうと納得しました。そして澄んだ空のもと穏やかな宍道湖に沈んでいく夕日と、その後に広がる夕焼けを蜆の貝殻を踏む音とともに眺め、その美しさに放心し、島根という地にいることを実感しました。ここで暮らす皆様が自然と美しいものを見る目が養われているように思います。

コロナ禍で、日常の中に小さな幸せを見い出す喜びを感じるようになった方は多いと思います。それでもやはり、地元だと当たり前すぎて美しさに気づいていなかったり、毎日の中で良さを忘れてしがちですが、写真によって今一度それらを思い起こさせてもらえればと思いました。そして、島根や日本の素晴らしさを、世界に発信していただければと祈りながら、写真を拝見いたしました。これから地域の強さが日本の国際力にもなっていくと思います。ぜひこれからも、遠くだけでなく、身近な中にある美しさや素晴らしさをカメラで切り取っていただけたらと思います。

今回は素晴らしいご縁と機会をほんとうにありがとうございました。

(文責 松井みさき／写真映像作家)

知事賞 ◎

あき よかん 秋の予感

た なか さく お
田 中 作 夫 (出雲市)

まず構図が素晴らしいです。そして、やわらかい光の捉え、霞がかかった空気のタイミングが絶妙で、雰囲気があり、観ていて純粹にとっても美しい写真です。緑めいた明るい世界ですが、タイトルにもあるようにところどころに黄色い秋の訪れが垣間見えるのが、奥深さを感じさせ、物語性が感じられます。ここから小説や映画が始まっていくかのような期待感があります。撮られた方の心の世界観が伝わってくるかのように観ていて、心が澄んでいく感覚を味合わせていただきました。どうもありがとうございます。

(文責 松井みさき／写真映像作家)

金賞 ◎

ふゆ あさ 冬の朝

ひ の てる よし
樋 野 輝 吉 (出雲市)

昭和の40年台に流行したような作品ですが、現在はデジタルによる撮影描写が秀れており朝の海で働く漁師の背影が作品全体の生活感を出しています。

この作品は、寒冷前線が通過する前の霧の情景がよく撮られていて漁師の寒い中での仕事が伝わってくるような作品です。

遠方に見える山脈が相乗効果を出していますが、もう少しハイキーに見せると臨場感が一段と表現されたと思います。かつては朝霧の中の船と云うのは、絵画的な作品が多くありましたが、現在においてはデジタル効果といいますか、精密描写されて季節感もよく出ており成功しました。

中央に沈むテトラポットが、印象画面となりサロン調といわれる作品でありながら日本の原風景を見る事が出来ました。霧の描写はあらゆる作品に共通するもので早朝の作品づくりには最高の被写体となります。

御入賞おめでとうございます。

(文責 川本 貢功)

銀 賞 ④

しゅうえん
終焉

いわ 谷 順 子 (松江市)

晩秋の田園風景を切り取った作品で、終焉のひまわりを捉えています。

枯れゆくひまわりには、派手さこそないものの、深い世界観を見せようとする作者の意図を感じとれる完成度の高い素晴らしい作品となりました。

夏に咲いている時も美しかったであろうひまわり、最後まで生きぬく姿もまた人生を見ているようです。

銀賞おめでとうございます。

(文責 三加茂幸子)

銀 賞 ④

しょう
翔

ほそ だ けい 子 (出雲市)

構図、露出、ピント及びプリントも完璧です。なにより光の具合が良く、シャッターチャンスも申し分ありません。望遠レンズの使い方もち確で背景のボケ味も作品を魅力的なものにしています。

所謂ネイチャーフォトのジャンルでなくむしろ水墨画を思わせる仕上げになっていることもこの作品の魅力です。

ビジュアル的にも美しく単に撮れた写真ではありません。2羽の重なり具合、目に入ったキャッチライト、足もとの水滴をご覧いただければこの作品の素晴らしさを更に感じさせます。

堂々の銀賞おめでとうございます。

(文責 小林 茂雄)

銅 賞 ③

はなぞの ねいろ
花園の音色

いし くら たい すけ
石 倉 太 介 (出雲市)

受賞おめでとうございます。

やわらかい描写で、日常の光景を表現されています。

主役の向日葵がアウトフォーカスの電車と蝶により強調されて、一層引き立っています。又、向日葵の黄色と電車の赤が、お互いを引き立てあって、主役を強調し、雨の効果も日常を表現するのにプラスになっています。構図も向日葵を1/3の位置に置き、右側の雨の空気感が表現されており、これ以上ない構図と思われます。

題名の音色を、余すことなく作品に表現した秀作です。

今後の活躍を、期待しています。

(文責 森脇 寿一)

銅 賞 ③

しょうじょ
少女

たけ した あきら
竹 下 朗 (出雲市)

逆光の中の草花のシルエットや道の輝き、ジャンプした少女の広がった髪の毛のバランスと相関性が良く、心象的な世界を感じさせます。そして、逆光の中でも少女の顔がほのかに見えており、より深い物語を感じさせます。

作者のすばらしい感性を実感させる秀作です。今後ともご活躍を楽しみにしています。

ご入賞、おめでとうございます。

(文責 佐々木 聡)

銅 賞 ③

しゅげんじゃ
修験者

き むら かつ み
木 村 克 己 (出雲市)

世の平安無事を祈念する修験者の一心不乱な姿に神通力の迫力を感じます。

炊き上がる炎と煙に包まれた姿はドラマチックで臨場感があります。アップで撮られた二人の構図も力強さを表わし、眼力に人の心を引き込む容姿を感じます。

力強さと神々らしさを与える素晴らしい作品となりました。

銅賞受賞おめでとうございます。

(文責 山下 壮一)

入 選

入選126作品のうち写真部門実行委員会賞として以下全33点を選定した。

- ・優秀賞 (3点)
- ・奨励賞 (10点)
- ・特 選 (20点)

(対象作品は備考欄に記す。また対象作品以外は五十音順とした。)

	題 名	氏 名	備 考
③	翔	島 本 陸 男 (松江市)	優秀賞
③	力走	高 梨 文 博 (隠岐の島町)	優秀賞

	題 名	氏 名	備 考
⑩	夜明け前	藤 井 千 富 (出雲市)	優秀賞
⑩	海岸清掃	藤 田 昭 平 (江津市)	奨励賞
⑩	明鏡止水	角 森 俊 一 (出雲市)	奨励賞
⑩	突然	田 中 康 治 (松江市)	奨励賞
⑩	夏の燈	細 木 仁 (松江市)	奨励賞
⑩	出番前	渡 辺 敏 雄 (松江市)	奨励賞
⑩	祭りの日	本 田 研 治 (出雲市)	奨励賞
⑩	野外学習	三 浦 秋 男 (益田市)	奨励賞
⑩	「痒い〜の！」	三 島 しげみ (出雲市)	奨励賞
⑩	ふれあい	松 田 桂 (大田市)	奨励賞
⑩	願いを込めて	川 上 政 光 (出雲市)	奨励賞
⑩	燃え上がる	森 本 美恵子 (大田市)	特選
	祭り	福 寄 富久江 (松江市)	特選
	いざ、本番へ	坂 本 新 次 (出雲市)	特選
	奪い合い	木 村 恭 子 (出雲市)	特選
	たむろい	太 田 勤 (松江市)	特選
	青楓の頃	佐 藤 伸 二 (出雲市)	特選
	雪華笑	吾 郷 紘 平 (飯南町)	特選
	神楽	内 田 定 廣 (奥出雲町)	特選
	火炎の行	品 川 清 一 (出雲市)	特選
	軌跡 (屋久島)	新 田 康 彦 (出雲市)	特選
	学舎	安 田 朝 行 (松江市)	特選
	龍神	管 敏 朗 (出雲市)	特選
	水燈路	田 中 純 子 (松江市)	特選
⑩	初秋	島 川 鐵 雄 (益田市)	特選
	激励塩まき	木 下 時 雄 (隠岐の島町)	特選
	がんばれ!!	吉 田 徹 (隠岐の島町)	特選
	願いを込めて	遠 藤 勉 (安来市)	特選
	ハーモニー	勝 部 幹 雄 (松江市)	特選
	わぶき	牛 尾 吉 郎 (奥出雲町)	特選
	三瓶残照	児 島 巧 (松江市)	特選
	むらのヒロイン	秋 重 学 (鳥取県)	
	ピース	荒 木 総一郎 (鳥取県)	
	サマージャンプ	石 倉 貞 昭 (松江市)	
	追憶	石 橋 克 巳 (出雲市)	
	見つめる女と見えない男	いしはらかやこ (奥出雲町)	
	五色沼の秋	和 泉 一 朗 (奥出雲町)	
	落日	伊 藤 朗 (出雲市)	
	初冬	伊 藤 以都子 (松江市)	
	農夫	糸 原 詩 郎 (奥出雲町)	
	晩秋の雲海	糸 原 輝 幸 (奥出雲町)	
	もっとちょ〜だい	稲 田 崇 (安来市)	
	秋の気配	岩 城 篤 明 (松江市)	

	題 名	氏 名	備 考
⑩	八朔の日	岩 田 毅 (大田市)	
	生命力	江 角 好 敏 (出雲市)	
	蒼穹の下でひと息	大 谷 剛史郎 (飯南町)	
	屋根裏	岡 寛 志 (出雲市)	
	幼鳥が舞う	奥 村 茂 (隠岐の島町)	
	春・杉花粉暴れる	押 柄 隆 夫 (出雲市)	
	至福の夏	尾 原 慶 乙 (出雲市)	
	木次線	武 田 克 弘 (雲南市)	
⑩	夏味	梶 明 広 (浜田市)	
	水燈路に誘われて	加 島 幸 夫 (松江市)	
	アートな浜辺	勝 部 美智夫 (出雲市)	
	美羽	金 崎 操 (出雲市)	
	祭	岸 光 夫 (出雲市)	
	静寂	岸 本 正 信 (松江市)	
	どう行列	桑 原 進 (松江市)	
	心一つに	後 藤 孝 司 (出雲市)	
⑩	黄昏 ～家路～	小 林 道 夫 (江津市)	
	雀の楽園	近 藤 末 美 (安来市)	
	平和だなあ	坂 本 彰 男 (出雲市)	
⑩	城上神社の秋	坂 根 昭 一 (大田市)	
	凍てつく朝	坂 本 憲 三 (松江市)	
	嫁ヶ島夜景	迫 光 徳 (松江市)	
⑩	夕日の輝き	佐々木 誠 (江津市)	
	悪戦苦闘	品 川 辰 朗 (飯南町)	
	雪雀	芝 原 本 修 (松江市)	
	春	須 崎 共 子 (飯南町)	
	出雲駅伝第1区の激走	周 藤 茂 男 (出雲市)	
	たたら場	高 井 正 幸 (松江市)	
	祭事	高 橋 幸 夫 (松江市)	
	虹を見る人	竹 下 敏 広 (出雲市)	
	生きた宝石	武 田 清 (雲南市)	
	湖畔	武 田 節 朗 (松江市)	
⑩	懐旧の情	橘 重 孝 (大田市)	
	髪結ひ	立 花 伸 一 (雲南市)	
	空手の寒稽古	田 中 修 (隠岐の島町)	
	軌跡	田 中 博 義 (安来市)	
	寒日	田 村 啓 子 (松江市)	
	痛ッ!	田 村 武 雄 (松江市)	
	大道芸	張 玲 姫 (松江市)	
	風のゆくえ	塚 本 順 成 (飯南町)	
	哀愁	塚 本 麻由子 (飯南町)	
	よさこい祭りフィナーレ	鶴 島 里 子 (松江市)	
	水面	寺 本 俊 行 (松江市)	

題名	氏名	備考
聖流	東 條 直 樹 (奥出雲町)	
秋鹿駅	徳 島 義 孝 (雲南市)	
緋	内 藤 章 江 (松江市)	
波濤	長 崎 嘉 暢 (出雲市)	
嫁島に舞	中 本 喜代数 (松江市)	
誘われてコスモス	中 本 晴 美 (松江市)	
円舞	柳 樂 昌 宏 (松江市)	
冬茜の湖畔	西 上 一 義 (松江市)	
捕獲!	西 上 耕一郎 (松江市)	
転生	西 澤 由 英 (奥出雲町)	
雪庇を歩く	信 藤 一 郎 (飯南町)	
渇	浜 豊 (松江市)	
光のペール	原 憲 治 (出雲市)	
お父さんに連れられて	原 浩 (安来市)	
漣	平 塚 健 藏 (松江市)	
斐伊川土手の春	福 島 一 夫 (出雲市)	
夏空	福 田 一 壽 (安来市)	
大好きな時間	福 田 秀 樹 (松江市)	
⑩ (日本での) ラストダンス	福 原 純 孝 (益田市)	
少女	藤 原 あや子 (松江市)	
⑩ おいかけっこ	堀 江 利 加 (浜田市)	
日溜まり	牧 原 正 (飯南町)	
灯籠流し	正 木 哲 雄 (松江市)	
波浪	松 岡 治 恵 (松江市)	
小春日和	松 崎 敏 江 (奥出雲町)	
⑩ 秋色好日	眞 鍋 智 浩 (浜田市)	
⑩ 花まつり	三 宅 亮 (益田市)	
点の世界	宮 崎 文 恵 (松江市)	
里山新緑	宮 廻 功 (松江市)	
⑩ 晩冬	森 山 典 雄 (大田市)	
時雨を急ぐ紅葉狩	森 脇 孝 公 (松江市)	
陰紋	森 脇 勇 吉 (安来市)	
氷晶	安 田 勲 (飯南町)	
窓辺の秋	山 田 清 子 (松江市)	
光の庭	吉 田 豊 美 (出雲市)	
深閑	米 田 直 之 (安来市)	
最終便	若 槻 明 郎 (松江市)	
日の名残り	若 林 文 子 (飯南町)	

招待

	題名	氏名	備考
⑩	RING	小林茂雄 (江津市)	
⑩	稲刈りの日	杉浦裕正 (浜田市)	
⑩	大空へ	尾崎美智 (浜田市)	
	青春	古瀬俱之 (出雲市)	
⑩	晴天	井上健治 (浜田市)	
	祭日	黒川政治 (松江市)	
⑩	獅子舞	尾崎剛 (浜田市)	
⑩	光芒	入江啓介 (大田市)	
	青春	藤原静雄 (雲南市)	
	翔	大坂武 (松江市)	
⑩	凝視	根宜康広 (大田市)	
	隠岐の馬	岡田文夫 (隠岐の島町)	
	ポーズ	中島哲 (松江市)	
	華模様	松浦潤一 (松江市)	
	ツララ	菅野紘 (松江市)	
	クライマー	桂川亮 (松江市)	
	梟の店	川本貢功 (松江市)	
	飛翔	波積薫 (松江市)	
⑩	昼下がり	吉崎佳慶 (益田市)	
	波濤	佐々木聡 (出雲市)	
⑩	「秋の色」	岡崎茂喜 (益田市)	
	恐怖の神棒	三次巧侑 (出雲市)	
	ほろ打ち	井上豪 (松江市)	
	帰着	渡辺正史 (松江市)	
⑩	二人の世界	森脇寿一 (松江市)	
⑩	清めの神事	酒井重礼 (松江市)	
	夕映えのコスモス	前田健 (隠岐の島町)	
	川面の光	西村賢治 (松江市)	
⑩	情念	田中利博 (奥出雲町)	
	紅梅	下川隆直 (松江市)	
⑩	光芒	山下壮一 (出雲市)	
⑩	少女	品川功 (大田市)	
	Jump in the dark	西尾透 (出雲市)	
⑩	祭りの日	三加茂幸子 (出雲市)	
	冬の訪ずれ	田村唯男 (松江市)	
⑩	朱一点	盆子原政司 (江津市)	
⑩	春爛漫	江川安夫 (浜田市)	
	トトロの森	渡部久由 (奥出雲町)	
	Couple	藤原美枝子 (奥出雲町)	

デザイン

応募点数	40点	招待作品	19点
入賞点数	7点	展示点数	59点
入選点数	33点	移は移動展出品作品	

(総評) 混沌とした社会情勢の中での第55回島根県総合美術展が開催できたことに心からお祝い申し上げます。このような伝統ある展覧会の審査員にお招きいただいたことを光栄に思います。私は錯視効果を特徴とするアートとデザインの狭間領域、具体的には視点位置をテーマにした表現を専門としております。今回の審査でも、社会情勢への主張や制作のコンセプト、またアイデアのユニークさや表現手法等、様々な視点から出品作品の魅力を引き出すことに重点を置きました。

さて審査を通しての印象ですが、デジタル表現だけでなくアナログ表現の力強い作品が多かったという点はうれしかったです。作品の中で、ひときわ私の目に止まった作品が自由部門の「Luna」です。ハイセンスな構図と余白の緊張感、デジタル表現の緻密さに加え、ダークトーンの中で差し込む光の視覚的魅力はすばらしいです。一方、「大和から」は水面下で起きている見えない戦争をテーマにマッドフラットというか、これまでの歴史の集積と歴史のリセットをテーマに表現されているのが印象的でした。木を焼きながら特殊なテクニックを使った表現が印象に残りました。一方、テーマ部門である島根県をアピールする作品の中で印象に残った作品は「いただきます」です。若者の感性が弾ける素直な表現がとても爽やかな好印象を持ちました。

昨今の混沌とした不安定な社会情勢は、表現者にとっては様々な思いをぶつける題材がたくさんあると思っています。デザインの表現で重要なことは、様々な視点で社会を見ていく眼とそれを明確なコンセプトで表現していくことです。画面の構成はコンセプトに基づくビジュアルアート表現のインパクトです。テーマ部門では、この視覚的インパクトと端的なキャッチコピー（メッセージ）との絶妙なバランスが構成力です。継続は力なりです。ジャンルを問わず良いものを見て刺激を受け、チャレンジしていく努力を積み重ねてください。

(文責 星加 民雄／神戸芸術工科大学非常勤講師 (錯視アーティスト))

知事賞 移

Luna

やま ね まゆみ
山 根 麻由美 (出雲市)

コンピュータグラフィックスを駆使し、その魅力を十分に伝える力作です。

濃紺の色の中に日常生活の情景を沈めた色彩構成の魅力に加え、光るライン、面、猫の目等、心よく画面を引き締める形の構成もおもしろく、実に内容のある作品となりました。

(文責 寺尾 堂)

金 賞 ⑧

Dive into Shimane

岡 崎 茉 子 (松江市)

島根が海と深く関わっていること島根の海的美しさの中に、飛び魚、ノドグロ等々、シロイルカ、ペンギン生き物の愛くるしさが残るようなシルエットで表現。躍動感溢れる画面構成、色使いとも群を抜いている。キャッチフレーズのseaを「し」mane「ま」「ね」と、見る人を、唸らせる、書体も、きれいに、女性作者らしく、しなやかなレタリングされて美しい。Seaと美の文字は黒色にした方が良かった。白く残す空間の扱いといい、ポスターとして、圧巻である。

パッと見ただけで、作者が表したい事、伝えたい事がストレートに、見る側に入ってくる、青色を使った作品の中では、印象に残るまた、脳裏に焼きついて離れない色使いの、秀作である。今期の県展デザイン部門で一層花を添える事でしょう。

(文責 平江 透)

銀 賞 ⑧

初恋ト陽炎

勝 田 優 介 (松江市)

架空の映画のポスターとして表現したグラフィック作品。きっかけはコロナ禍で作者が感じた「儂く消えやすい幻想的な思い」と、かつて出雲に遊郭が存在した事実が陽炎な印象でリンクしたことで生まれた。遊び心を俯瞰させる様な初恋模様を繊細なイラストレーションで描いている。華やかさと美しさの中に現実と幻想でゆらぐ儂さが丁寧に表現されている。

イラストの中に多く出てくる「目」について、「幻想、真実どちらでも自分の目に映るものも感性として大切にしていきたい」と言う作者の思いが込められており、コロナ禍の中で辛い体験をした作者の想いをのせた渾身の作品と言える。

(文責 秋國 紋子)

銀 賞 ⑧

大和から

森 下 美津子 (松江市)

ロシアのウクライナ侵攻により、かつての日本における戦争の時代に思いを馳せる人も少なくない。そのような中で、「大和ミュージアム」を訪れたという作者は、今の自分の幸せな時と場所に感謝の気持ちが湧いてきたという。

日本のかつての軍事力の象徴でもある戦艦大和が、ボードに焼きを入れるという手法により、セピア色の追憶として繊細に表現されている。その技術と発想には面白味があるが、構成として左右の白が強すぎることで緑と青の色彩が全体の雰囲気をやや壊しているのが惜しいところである。また、戦禍を表す赤のドリッピングに立体感を増したり、額の幅を細くすることで、作品がさらに引き立つと思われる。今後の更なる発想、構成に期待したい。

(文責 内田 京子)

銅賞 ⑧

Water Planet Part 3 Reach For Future ^{かじ}梶 ^{あきひろ}明 広 (浜田市)

ビンの中にはメッセージが込められています。ビンはその大切なメッセージを運び海や宇宙を旅していきます。

私たちはビンとなって、円盤の世界を旅することで、果てしない世界をめぐる物語を想像することでしょう。

また、銀河や水の表現力が秀逸で、今後の作者の活躍に期待できます。

(文責 春日 謙一)

銅賞 ⑨

^{はは}母なる^{ほしうみ}星海 ^{たなかちさと}田 中 千 智 (松江市)

不思議な海中生物が、透明感をもって立体的に表現されている。体にちりばめられている五弁の花の模様が可愛らしい。

また、背景の星やヒマワリの花の色彩が、作品を楽しく魅力的にしている。

写实的や模様のヒマワリの描き方を変えているところにも、作者の細やかな工夫を感じる。

(文責 春日 謙一)

銅賞 ⑩

BANZIMASHITE HINOMISAKI ^{きしもとあみ}岸 本 亜 美 (出雲市)

全国でも有数の夕日の名所といわれる島根だが、日御碕灯台という観光地を通して美しい色彩で表現されている。彩度が比較的強く抑えられていることから、ほぼ補色である文字も画面に違和感なく馴染んでいる。文字の形態も工夫されており、画面に遊び心を感じさせる。ただし、キャッチコピーの出雲弁が歴史ある出雲の地を表す表現としては、作品の雰囲気あまりにそぐわない。美しい日本語を今一度追求し、文字と画面の調和を図ってほしい。

全体としては、光と影の配置、構成共にすっきりとまとめ上げられ、印象に残る完成度の高いポスターに仕上がっている。

(文責 内田 京子)

入 選

題 名	氏 名	備 考
飛翔 一出雲より一	山 崎 智 美 (大田市)	
源	関 のぞみ (鳥取県)	
反戦	福 田 昇 (松江市)	県外審査員特別賞
水晶切子のサイドテーブル	川 西 規 雄 (松江市)	

題名	氏名	備考
おばけ	立花 わたる (江津市)	
そこにある記憶	小林 彩音 (安来市)	
jewelry & robo plants	細木 博文 (松江市)	
トコナツ・ドーナツ	山崎 絵里 (松江市)	島根デザイン連盟奨励賞
いつまで	森 脇 玄太 (浜田市)	
九条任子	山 縣 未空 (松江市)	
海遊石の種	渡 部 史也 (松江市)	
心経の木	西 村 仁伸 (松江市)	
未来のこどもたちへ	I c c y (松江市)	
不苦勞	藤 原 久子 (松江市)	
安心	森 山 百合香 (出雲市)	
私の宝物	はやし まりこ (松江市)	島根デザイン連盟奨励賞
Gross Bugs	高 田 隼平 (浜田市)	
山陰の海軍航空基地跡	児 島 巧 (松江市)	
⑩ 月夜のheart	貝 谷 久美子 (美郷町)	島根デザイン連盟奨励賞
早く気づかないと	さ か さ び (松江市)	
誰かに届く歌を歌いたい	青 木 涼 (出雲市)	
カッコつけろ。	今 若 快成 (出雲市)	
白鳥の滑り台がある展望広場	森 山 翔 琉 (松江市)	
龍	岩 成 浩行 (松江市)	
大蛇	有 田 航 (奥出雲町)	
いただきます	吉 川 莉 菜 (奥出雲町)	県外審査員特別賞
赤と青と緑	岸 本 琉 風 (奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
おろち	Chiku Chiku (松江市)	
しまね景勝地カード	渡 邊 はる菜 (松江市)	
美ノ國 —おいでませ、島根へ—	江 角 千 尋 (出雲市)	
牛も安らぐ、隠岐の旅	栗 谷 友 里 (出雲市)	
自分探しの旅に出よう	石 田 珠 亜 (安来市)	
神在月	嘉 本 光 留 (出雲市)	島根デザイン連盟奨励賞

招 待

題名	氏名	備考
パウル・クレーの主題によるパリエーション2022	石 野 眞 (松江市)	
⑩ GAHAN2022-04 〈?魚運ぶ〉	寺 尾 堂 (益田市)	
⑩ 一人の時間	近 藤 隆 (安来市)	
イラストレーション	遠 藤 毅 (雲南市)	
オウム貝の伝言	内 田 京 子 (奥出雲町)	
⑩ 百歌花暦 —石路の花—	奥 美奈子 (大田市)	
地面効果翼ジェットドローンMA-OXII	春 日 謙 一 (松江市)	
⑩ 1888	錦 織 秀 行 (雲南市)	

題名	氏名	備考
Genderless	野々内 政 美 (松江市)	
笑うカンコーT キンニャモニャ〜	平 江 透 (松江市)	
笑うカンコーT アラエッサッサル	平 江 透 (松江市)	
たまご健康生活2022 新たまごの日常「コロナ禍に生きる」	秋 國 紋 子 (出雲市)	
flower	柳 楽 武 臣 (出雲市)	
⑩ HOPE	原 真 人 (松江市)	
不可思議	稲 田 通 子 (松江市)	
和楽の鐘	山 川 房 子 (安来市)	
星の標	A k u t o (鳥取県)	
2022 わたしの心模様 2022 My heart pattern	玉 木 喜久代 (出雲市)	
⑩ 記憶 II	吉 岡 さつき (安来市)	

彫刻

応募点数	26点	招待作品	5点
入賞点数	6点	展示点数	31点
入選点数	20点	◎は移動展出品作品	

(総評) 本年は、本県文化芸術次世代育成支援事業の一環であるテラコッタ講習会受講の高校生の若々しい作品の出品が多くあり、出品点数は30点に増えました。

応募作品は、植物の萌芽の喜びからの着想をはじめとするいわゆる抽象表現や、世界の現況への思いに発想を得たものをはじめとする具象表現、さらには人間や信仰への温かいまなごしを向けた表現、民話的な独特な雰囲気の表現等々バラエティに富んでいます。

審査の結果、彫刻としての立体的な量感や構合力において、知事賞としては今一步、及ぶ秀作は見いだせませんでした。また、たいへんな労作でありながらも装飾性や説明的な要素が強い作品は、受賞対象とはなりませんでした。

(文責 山岡 弘迪)

金賞 ◎

てんよう
展葉

たちばな
立花 航 (江津市)

植物の芽や球根をイメージして制作を続けてこられました。受賞作品は、芽や根から葉が成長していく生命力を強く感じさせます。

野焼き焼成などへのこだわりや想いを大切に、素朴さを生かした制作を今後も追及していただきたいと思います。

(文責 山岡 弘迪)

銀賞 ◎

しゅぞう
肖像

しもがき
下垣 明 (出雲市)

異国の人の顔にあふれんばかりの自らの思いを込め、積極的に取り組んだ作品です。素材としては取り扱いの難しい白磁を使って、焼成して作った作品です。

(文責 山岡 弘迪)

銀賞 ◎

はかい
破壊のくに

やま さき えみ
山崎 恵美 (松江市)

世界平和を願う強い気持ちだが、若い青年像として結実した秀作です。首を長く誇張したことによって、頭部の無機質で痛々しい物体の存在感が、作品のテーマ性として強調されています。

(文責 山岡 弘迪)

銅賞 ⑩ 移 ^{しょうけい} 少憩 ^{はら} 原 ^{ます} 増 ^お 男 (出雲市)

作者は磯辺で休息する人を制作されました。目線の先に、のどかな景色へのあたたかな思いがにじみ出ているようです。体の各部を丁寧に表現しようとする工夫が感じられます。

(文責 山岡 弘迪)

銅賞 ⑩ 移 ^{せきじつ} 昔日 ^{おお} 大 ^{はた} 畑 ^{ひろし} 敬 (松江市)

青年のみずみずしさやさわやかな風を感じます。細部表現からは、作者の繊細さや丁寧さがよくわかる作品です。

(文責 山岡 弘迪)

銅賞 ⑩ 移 ^{たね} 種 ^{ふく} 福 ^{しま} 島 ^{こう} 煌 ^{すけ} 介 (出雲市)

カボチャ独特のぼったりしたボリューム感がどっしりとした全体像として重厚な存在感を醸し出しています。中央の種の集合部に、作者の強い目線が感じ取れ、緩急のバランスが効果的に表現されています。

(文責 山岡 弘迪)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
	播種・発芽	立 花 航 (江津市)	
	雑木のホトケ	佐 藤 信 光 (安来市)	
	待つ人	松 谷 伸 吉 (出雲市)	
⑩	うれしや！うれしや！	佐々木 孝 (浜田市)	
	笛を吹く者	日 野 建 一 (出雲市)	
⑩	雨上がり	佐々木 柳 子 (江津市)	
⑩	平和の頃	郷 田 勝 (江津市)	
⑩	夕日の断崖	吾 郷 薫 (大田市)	
	爬虫の主	南 波 隆 之 (松江市)	
	獅子頭	佐 伯 星 凧 (奥出雲町)	
	レンコン	宮 崎 千 晴 (奥出雲町)	
	夏の顔	川 島 穂 香 (奥出雲町)	
	うたたね	荒 木 万 和 (奥出雲町)	
	夏の足音	波多野 有 華 (雲南市)	
	凛々しい横顔	樋 野 真利佳 (出雲市)	

題 名	氏 名	備 考
あっち向いてホイ	桑 原 扶結香 (出雲市)	
彫刻の女	門 脇 実 優 (出雲市)	
ネパールの女	青 木 咲 樹 (出雲市)	
胸像	石 倉 璃 奈 (出雲市)	
Mother'22	尾 添 昇 (出雲市)	

招 待

	題 名	氏 名	備 考
	トルソ'22	山 岡 弘 廼 (出雲市)	
⑩	望	伊 藤 眞 美 (出雲市)	
⑩	雄	田 中 俊 晞 (江津市)	
	ニケの風	松 本 健 志 (出雲市)	
⑩	種子	近 田 裕 喜 (安来市)	